仕様

機体名称	AS-H1
外形寸法	3.9 x 2.7 x 1.0 m（全幅 x 全長 x 全高）
機体重量	57 kg（バッテリー含む）
最高速度	120 km/h（34m/s）
巡航速度	80km/h（22m/s）
バッテリー	15S3P - 32400mAh x 4（BMS 対応）
飛行時間	1.5 時間（飛行高度 1000m、ペイロード 10kg） 3.4 時間（飛行高度 100m、ペイロードなし）
飛行距離	120km（飛行高度 1000m、ペイロード 10kg 搭載） 250km（飛行高度 100m, ペイロード無し）
最大搭載可能重量	13 kg
防塵・防水	IP45
耐風性能	・巡航時　固定翼モード：20m/s ・離着陸時、固定翼への遷移時、マルチコプターモード 向かい風、横風：20 m/s 追い風：13 m/s
離発着場所要求	10 m x 10m
使用温度範囲	-20 ～ 45℃(バッテリー含まず)
安全性向上機能	前方安全確認（可視カメラ、赤外線カメラ、250m レーダー） 下方安全確認（可視カメラ、100m レーダー） BLDC モーター x 10 (MC 用 x 8, FW 用 x 2) 電池 4 並列化 フライトコントローラー２系統化 対気速度センサー ２機搭載 パラシュート搭載（検討中）
付帯機能	夜間飛行、長距離無線通信システム
型式認証	第一種型式認証申請中
生産国	日本
ペイロード	静止画カメラ、動画カメラ、赤外線カメラ、レーザスキャナ、コンテナ など

ドローン導入やカスタム開発のご相談は、お気軽にお問い合わせください

※　製品改良により、予告なく仕様・外観などを変更させていただく場合があります
※　実際の値は、飛行環境や使用方法によって異なる場合があります。使用の際は、実際の状況を踏まえ操作してください。

AeroSense
https://aerosense.co.jp

YouTube
Aerosense Inc. youtube チャンネル
https://www.youtube.com/c/AerosenseJpn

エアロセンス株式会社
〒114-0012 東京都北区田端新町１丁目１−１４ 東京フェライトビル
TEL. 03-3868-2551

2025.06.02版

AS-H1

「第一種型式認証」申請中

AeroSense



AEROBO® wing

災害救援用VTOL

- レベル4飛行を見据えた高水準の安全性能
- 250km超の航続距離
- ペイロード積載重量13kg

VTOL：垂直離着陸機（Vertical Take-Off and Landing aircraft）



災害救助の現場を支えるために生まれた次世代のVTOL型ドローン

必要な支援を空からすぐに

現行機種との比較

AS-H1

災害支援に適した性能進化





	AS-H1	従来機種
サイズ	3.9 x 2.7 x 1.0 m	2.2 x 1.2 x 0.4 m
航続距離	250km	50km
積載重量	13kg	1kg
耐風性能	20m/s (巡航時)	10m/s (向かい風)

AS-H1の特徴

飛行航続距離 250km

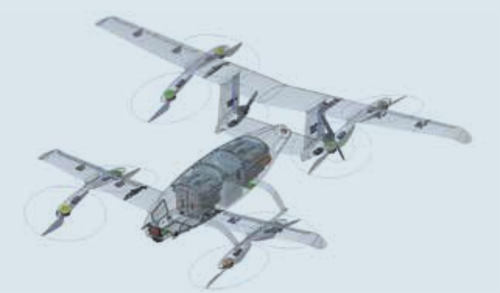


高効率の飛行機体の開発により、250kmの長距離飛行が可能となりました。これにより、遠く離れた都市間や離島間など、従来のドローンでは対応が困難な長距離の移動を実現し、災害時の状況把握や物資輸送などに幅広く活用できます。
さらに、広域な航空測量の領域にも対応し地形解析など幅広い用途での利用が可能です。

悪天候時にもすぐに飛行可能

災害時の悪天候にも対応できることを第一に考え、防水性と耐風性能を重視した機体構造を開発しました。
本機は風速20m/sの環境下でも安定した飛行が可能であり、さらにIP45の防塵防水機能も備えているため、悪天候時にも柔軟に運用が可能です。

有人地帯上空での安全な飛行



第一種型式認証を申請しており、安全性に関する基準を満たすことで、有人地帯を安全に飛行できます。フライトコントローラやプロペラ、対気速度センサーなど、飛行に関わる主要システムを多重化し、安全性を高めました。
さらに前方レーダーで障害物を検出し、衝突を回避。万が一のトラブル時でも安全な飛行を確保します。

災害発生地点に直接離着陸

VTOL型ドローンのため、滑走路や空港インフラがなくても、狭小地や仮設の離着陸場から迅速に運用可能。これにより、被災地から離れた都市からでも、最大13kgの積載物を被災地内の避難所へ直接緊急物資を輸送することが可能となり、交通インフラが寸断された状況下でも、確実かつ迅速な支援を可能にします。

活用場面

緊急災害対応 - 被災地に即時アプローチ。離れた拠点からも支援可能



本機は、耐風・耐候性を備えた設計により、災害直後の悪天候下でも飛行可能です。LTE 通信による遠隔操作で、インフラが遮断されたエリアへも、即時に物資を届けることが可能です。
初動対応の迅速化、現場負担の軽減、支援の最適化に大きく貢献します。

離島・中山間地物流　- 生活支える、次世代の物流インフラに



定期便や緊急輸送において、離島や中山間地域への物資搬送を可能にします。垂直離着陸ができるため、限られた離発着場所でも運用可能。交通事情に左右されることなく、人々の暮らしを支える医療物資や生活必需品の安定輸送を実現します。

インフラ点検・測量　- 安全かつ高精度な空からの計測データを取得



レーザースキャナや高精細カメラを搭載することにより広範囲の高精細な地形データやインフラ設備の状況を迅速に把握できます。
災害後の被災状況把握や、ダム・送電線などのインフラ点検において、高所作業や立ち入り困難な場所に人を派遣することなく、安全かつ効率的に現地の状況を把握することが可能です。